

あきる野市中央公民館便り

vol. **1**  
2020.3



みんなで作る料理って楽しいんだよね！



# 縁

地縁、血縁、ゆかり。  
人間関係が薄まりつつある現代社会。  
だからこそ、公民館での講座や団体活動を通して、人と人が顔と顔を合わせて交流し、そこでみなさんの縁が生まれる場を、みなさんと共に作っていききたいです。

# 円

公民館ではたくさんの人々が学び合い、カラフルな「サークル(円)」を描いています。そのひとつ一つにそれぞれの雰囲気や特徴があり、みなさんの笑顔があります。これからも公民館がみなさんの「円」で溢れますように。

# en-

encourage[勇氣(げん)や enjoy[楽しむ]など名詞や形容詞の頭について、動詞を作る役割の接頭辞「en-」  
公民館もみなさんにとって、何かを始め、動き出すきっかけとなるような存在になれば嬉しいです。

## ～表紙の写真紹介～

家庭教育講座「絵本 de クッキング!」で『14ひきのかぼちゃ』の絵本に出てくる、かぼちゃのパイを作りました。写真は、テーブルで一番お兄さんの子がパイシートの形を包丁で整えている場面です。みんなの視線が集まる中、パイシートを作る顔は真剣そのもの。絵本を使ったゲームなどもあり、絵本の世界を五感いっぱい楽しんだ一日でした。



01 「en」にこめた3つの思い／表紙の写真紹介

02 もくじ／館長より

03 公民館でどんなところ？

05 まなぶ

- ・寿大学
- ・家庭教育事業
- ・青少年教室
- ・ニポランティア事業
- ・市民カレッジ入門講座／市民解説員活動推進事業
- ・市民企画講座
- ・市民大学
- ・市民文化祭
- ・芸術文化推進事業
- ・女と男のライフフォーラム

11 つどう

- ・施設紹介
- ・サークル活動

13 むすぶ

- ・ネットワークづくり

14 アクセス／編集後記

裏面 こちら、地域の情報局！

## 館長より

日頃より、多くの方に公民館をご利用いただき、また各種事業にご参加いただきありがとうございます。

この度、公民館でのさまざまな活動をより多くの方へお伝えし、より多くの方に公民館に親しんでいただきたいとの思いから、中央公民館便り「en」を発刊する運びとなりました。

生涯学習の主役は市民のみなさんひとりひとりです。「en」がみなさんの学習に寄り添える存在となりましたら幸いです。

館長 吉岡賢





# 公民館で どんなところ？

## 「地域人」による

### 「地域づくり」の場

公民館は「おじいちゃん、おばあちゃん」が趣味の活動をしているところ」「ただ会場を借りるところ」「なんとなく難しそうで入りづらい」こんな風を感じている方も多いと思いますが、それではすぐもったいないです。公民館はもっと「意外と」「簡単に」「気軽に」利用できる施設です。

公民館について、3つのキーワード《まなぶ》《つどう》《むすぶ》に沿って紹介していきます。

## 《まなぶ》

公民館は、「住民の方の興味関心」や「地域で困っている事」などについて学ぶ場です。「合唱を始めたい」「自然観察をしたい」「絵を描きたい」など、「〜したい」と思うことがあったら公民館へ相談してみてください。公民館では色々な講座を開催していますし、市内の講座や事業の紹介も行っています。さらに、公民館では多くのサークルが活動しており、そのひとつが学び合いの場になっています。きつとみなさんの「〜したい」に応えてくれる学ぶ場に出会えると思います。もし希望する場が無かった時は、自分たちで学ぶ場を作ってしまうでしょう。サークルの立ち上げで困った時はお気軽にご相談ください。

また「地域で空き家が多くなり、ちよっと心配」「子どもを遊ばせる場所がない」など、個人の力では解決できない地域の困り事がある時も公民館にご相談ください。みなさんが学び合える場を一緒に作っていきましょう。



## 《UIN》

公民館は「日常の中で気軽に集まることが出来る場」です。みなさんの「ちよっと集まりたい」「みんなんで練習したい」のために、大小様々な会議室、ステージのある大部屋、台所がある部屋など色々な部屋があります。地域によっては、地区会館や自治会館などもありますので、みなさんの好みの会場を見つけてみてください。

また、一階のロビーは自由に使えますので「ふらっと公民館へ寄ってみる。」などお気軽にご利用ください。

## 《むすぶ》

公民館は「地域の様々な機関や団体のネットワーク」を作ります。あきる野市には数え切れないほど多くの機関や団体があります。しかしながら、その多くがそれぞれの活動を独自に行っていることが多いです。公民館が結び目となることで、色々な団体が繋がり、これまでにない新しい活動が生まれる。そんな可能性を信じながら、これからも結び目を作っていきます。



# まなぶ 講座・事業紹介

楽しく学んで  
豊かに生きる

## 寿大学

寿大学は60歳以上の市民なら誰でも無料で受講することができます。

あきる野市の生涯学習推進事業で、開講して7年目になります。

文学、歴史、科学、芸術、健康生活、一般教養等の講義や行事の講座を通して、高齢者の学ぶ意欲や知識の向上

を図り、地域社会への参加に役立て、受講生の相互交流を図ることを目的として、秋川校と五日市校の2会場で実施しています。

令和2年度には、秋川校は秋川キララホールで728名が、五日市校は五日市地域交流センターまほろばホールで125名が、5月から12月まで各20回の講座で意欲的に学習に取り組めます。

生涯学習とは、学習者自身が、生涯を通じて行うあらゆる学習(学校教育、社会教育、文化・スポーツ活動、レクリエーション活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味等)を、いつでも、どこでも自由に学ぶ機会を選択して、学び続けることです。

そして、その成果が社会に生かされるのたためになり、生きがいとなるように、寿大学は受講生だけでなく市民の皆様の豊かな学びのお手伝いをさせていただきます。

毎年、2月に募集をいたしますので、多くの皆様の入学をお待ちしています。

寿大学 学長

(右上) 秋川校での講座風景。みなさん真剣です。(右下) 五日市校閉講式での学習発表「コーラス部」会場を心地よい歌声で包んでくれました。(左) 五日市校「健康体操」講座の最後にバシャリ。講座中もその場でできる簡単な体操をしたおかげか、いつもより皆さんの笑顔が輝いています。





ともに学び合おう  
子育ては親も子ども  
も同級生！！

## 家庭教育 事業

家庭教育学級での一コマ。参加者それぞれの体験や悩みを共有しました。最初は緊張していた方も話し始めるとどんどん盛り上がっていきますね。

みなさん、こんにちは！みなさんは公民館の子育て支援講座・家庭教育事業をご存じですか？公民館では、子どもの健やかな成長と親自身の成長を目指し、子どもの発達段階に応じた課題をテーマにした「家庭教育学級」と、親子の絆を深めていただくための「家庭教育講座」を実施しています。この講座は、子育てへの不安や悩みを解消し、より良い親子関係を築いていただくための講座です。

今年度の家庭教育学級では、乳幼児期のお子さんへの向き合い方をテーマに、遠藤隆一先生（「一社」親学推進協会親学アドバイザー）を講師にお迎えし、和気あいあいとした雰囲気の中で参加者の皆さんが共に学び合いました。また、親子で体験する「家庭教育講座」では、「あきる野」の地域性を活かしたテーマの自然観察（ホテルの観察と植物観察）・工作（松ぼっくりリースづくり）・料理（絵本 de クッキング！）・野菜づくりを通して、子どもの成長を感じながら、お子さんとの触れ合いを楽しみ、様々なことを楽しく学び合いました。

そして、今年度開催予定だった柴田愛子先生の講演「今日からしつけをやめてみた」は、新型コロナウイルスの感染症拡大防止のために今年の12月13日に延期する予定です。来年度はその他にも様々な企画を予定しています。子育てに迷った時・挫折そうになった時・同じような悩みを持つ人と話がしたいと思った時、そして、親子で楽しく何かを学びたいと思った時には、ぜひ、家庭教育の講座にご参加ください。皆さんとお会いできる日を楽しみにしています。（M・A）



(右) みんなで野菜の苗を植えました。おいしい野菜ができるかな？  
(左上) 雨にも負けず、植物・生き物観察。この葉っぱなんだか分かる？  
(左下) クリスマスリースづくり講座。「お父さん、ここ持ってて！」



未知の世界が  
僕らを待っている

## 青少年 教室



(右) 科学教室「紋切り遊び」での一枚。うちわ、きれいにできたよ！(左上) 細かい紋様も切れるよ！  
(左下) 「チャレンジ！宇宙と地底を大調査」筑波宇宙センターの見学。未来の宇宙飛行士がこの中に…？

青少年の知的好奇心・学習意欲の向上と、豊かな成長を図るために開催する講座です。

科学教室「紋切り遊び（写真右、左上）」は、小学生と保護者を対象に、南秋留小学校主任教諭の遠藤康弘さんを講師に、江戸時代の「紋切り遊び」を行いました。折り紙を半分折り、型紙をあてて切りぬく。広げると連続模様となって綺麗な紋ができます。また、プラスチックのうちの骨組み、画用紙、自作の紋を使い、オリジナルの「うちわ」を作りました。毎年、工作と実験を多くとり入れ、参加者の多い教室です。

次に、「チャレンジ！宇宙と地底を大調査（写真左下）」も、小学生と保護者を対象に、JAXA筑波宇宙センターの見学ツアーを行いました。日本で最大規模の宇宙航空開発施設をガイドの説明を聞きながら見学などを行いました。

両教室とも、子どもさんの瞳がキラキラと輝いていたのが印象的でした。最後に、学校とはちょっと違う体験や学びを用意して、皆さんの参加をお待ちしています。（M・T）

パソコンで  
日常をちょっと豊かに

## ITボランティア 事業

今年度は5月から2月まで月2回パソコンQ&A講習を実施しました。受講者の質問にITボランティアがマンツーマンでお答えするもので、延べ60名の方に受講していただきました。不定期ながらパソコン活用講座も実施しています。前年度は初心者向けワード・エクセル活用講座を実施、案内状と家計簿を作成しました。（M・O）



パソコン活用講座の様子。みなさんパソコンとにらめっこしながら、作成しています。



あなたも、  
あきる野の自然、  
歴史・文化の  
再発見に LET'S TRY !

## 市民カレッジ入門講座 市民解説員活動推進事業



「みなさん！ここから見ると秋川右岸の台風19号による被害がわかると思いますが、秋川は北から南へ流れているので、人工物がなければ川は、右岸、右岸へと進んでいくこととなります。次に、山の方を見てください。左側が四万

十帯、その前面が加住丘陵、サマーランドの観覧車辺りの五日市町層群を挟んで、右側は秩父帯というように、あきる野の地質が大まかに見渡せます。」  
「ほんと！台風の被害の様子や段丘のでき方、地形の様子がよくわかりますね。」

これは、昨年10月24日に行われた市民解説員養成市民カレッジ「入門講座『自然史I』」の第4回現地学習でのひとコマです。講師の青谷知己先生の指導で5月から開始された全4回講座の最終日でした。この後、中央公民館に場所を移して、テーマ「秋留台地の歴史を考える」のまとめを行いました。参加者は、市民解説員をめざして入門講座を受講している方々11名です。

市民解説員は、あきる野市が誕生した平成7年から開始した市民カレッジ「入門講座」で人物伝、考古学、自然史などの科目を受講し、12単位と解説実習を修了した人を教育委員会が認定しているものです。令和元年度は、6代から80代の方々72名が活動しています。五日市郷土館や二宮考古館等での展示解説のほか、「市民解説員が案内する『市内探訪』」、市内外からの依頼に基づく市

内文化財等の解説案内などで活躍されています。まさに、生涯学習を实践する「学んだ成果を生かした」取り組みとして期待されています。(I・A)



(右) 市内探訪「30年に一度のチャンス！！～貴志嶋神社と大悲願寺 同日御開帳～」河原での解説。河原の石をよーく見ると…  
(左上) 市内探訪「五日市・戸倉の秋の文化財を訪ねて」秋原タケの胸像の前にて。(左下) 市民解説員発表会。渾身の研究発表が行われます。

あなたも、  
学びの場づくりを  
してみませんか？

## 市民企画 講座



(右上)「日本・ポーランド国交樹立100周年記念コンサート」(右下)「親子で遊ぼう～あめジィの科学遊び～」  
(左上)「手話ソングを楽しみませんか」(左下)「憲法という希望～地方自治と米軍基地～」

「学び」は人それぞれ多種多様です。さらに、「いつでも、どこでも、誰もが学び、活動できる」生涯学習社会をめざす中で、公民館事業に参加するだけでなく、市民には参画することが求められています。

このような中、公民館では、平成17年度から「市民企画講座」を実施しています。あきる野市で生活する中で課題になっていること、日頃から疑問に思っていること、よりよい生活をするための工夫、感じていること、考えていることなどの学習課題を事業化する企画・提案を市内で活動する団体や市民のみなさんから募集し、協働による公民館事業として実施しているものです。

令和元年度は、10団体から12事業の企画・提案があり、3月に開催を予定していた講座が新型コロナウイルス感染拡大防止により中止になりましたが、あわせて11事業が実施されました。

令和2年度も企画・提案を募集しますので、奮ってご提案ください。

(I・A)

日々の生活に  
まなびをプラス！

## 市民大学

一般教養の向上と相互学習をめざし、多くの市民が生涯学習に親しめるように「ZEH共催 関連文化講演会」や「男性の料理教室」等を行っています。

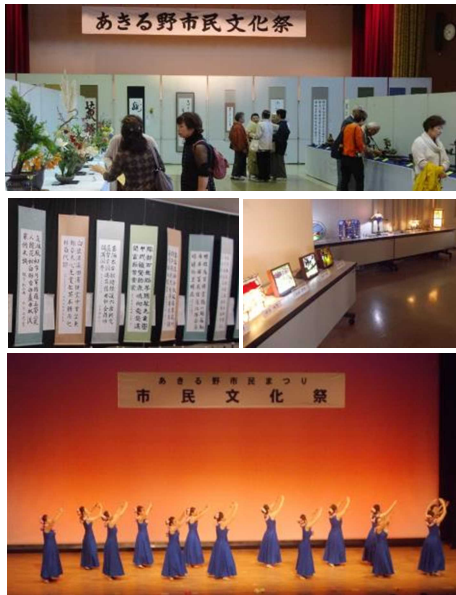
写真上段は、ZEH主催展覧会 特別展「出雲と大和」の開催に伴い、秋川ふれあいセンターで、228名の参加を得て行いました。参加者は90分間、講師の話熱心に聞き入っていました。同中段・下段は「男性の料理教室」「しめ飾りを作ろう」の講座の様子です。

(T・M)



(上)「NHK共催 関連文化講演会」(中)「男性の料理教室」  
(下)「手作りのお正月～しめ飾りを作ろう～」





(上) 展示・五日市会場 (中) 展示・秋川会場  
(下) 催し物・キララホール

令和元年度の市民文化祭は、「令和に  
気持ち新たに おもてなし」をス  
ローガンに、展示の部では、五日市会場  
(五日市会館、五日市地域交流センタ  
ー)、秋川会場(中央公民館、秋川体育  
館)で59団体が作品展示を行いました。  
催し物の部では、秋川キララホール、五  
日市地域交流センターなどで47団体  
が発表を行いました。  
市民文化の花が咲く市民文化祭には、  
多くの方が来場し、参加団体の日頃の  
活動成果の発表を十分に楽しんでいた  
だきました。(S・T)

あきる野で繋がる  
文化の輪

## 市民 文化祭



(上) 絵画展・講評の場面 (下) フォトコンテスト  
講評の場面。どちらもみなさん興味津々です。

市民の芸術文化の向上と魅力あるま  
ちづくりを目的に、平成19年5月より  
美術関係団体等と実施に向けて協議検  
討を重ね、同年「あきる野絵画展実行委  
員会」が発足しました。そして、「第1  
回あきる野絵画展」を教育委員会と実  
行委員会との協働により開催し、以後  
隔年で実施。令和元年度で第7回を迎  
えました。令和2年度は、「あきる野フ  
ォトコンテスト」を開催します。みなさ  
まからの思いのつまった作品を楽しみ  
にお待ちしています。(I・A)

ふるさとを  
Art する

## 芸術文化 推進事業

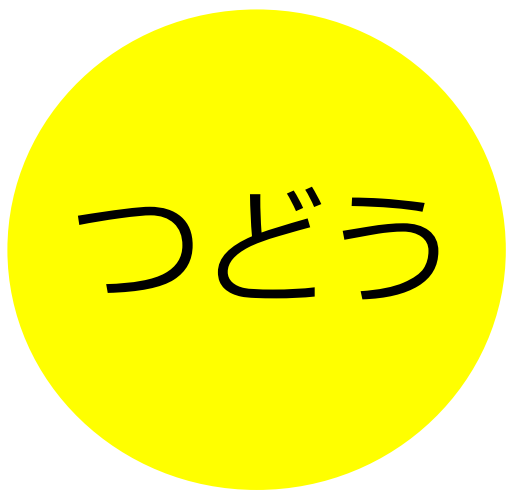


(上) 平成30年度「漂流する子どもたち『無関心  
社会』の罪」(下) 平成29年度「真の教育とは」

性別に関係なくだれもがいきいき  
と、自分らしく生きていける社会の実  
現を目指し、「男女平等」の意識啓発の  
ために、平成8年度から開催していま  
す。  
これまでには「おんなの本音！おと  
この本音！」「がんばらない生き方の  
処方箋」「漂流する子どもたち『無関心  
社会』の罪」など、家庭、地域、職場  
など様々なシーンでの「男女平等」に  
ついて多くの参加者と一緒に考えて  
きました。(M・O)

「ちがい」を  
認め合える社会へ

## 女と男の ライフフォーラム



# 施設紹介



「したい」「やりたい」  
ができる場

公民館は住民のための社会教育施設です。みなさんの「くしたい」「くやりたい」を実現するための場所として、大小様々な研修室、ステージのある集会室、防音の音楽室、料理ができる実習室、畳敷きの和室などがあります。年間利用件

数は6千件に及び、利用者数は9万人を超えます。活動をするためには物理的な場が必要です。市内には公民館の他にも多くの場がありますので、自分たちにあった活動の場を探してみてください。

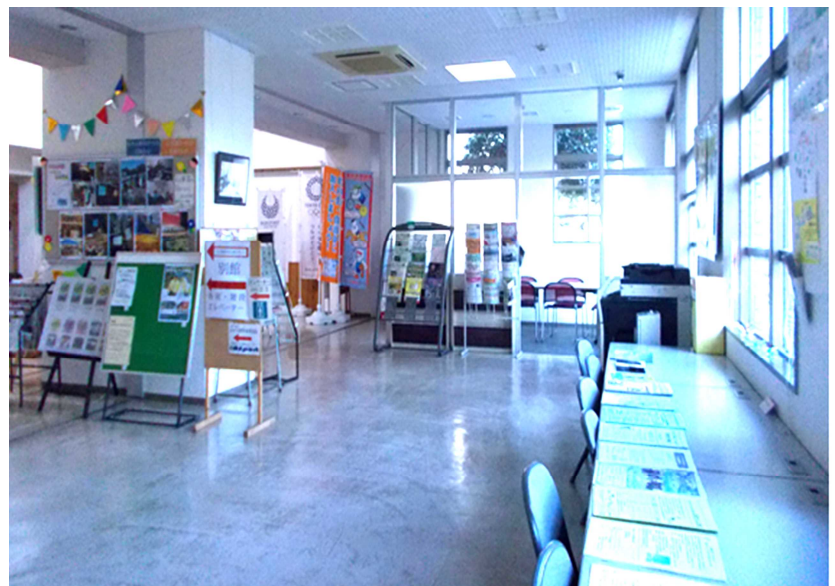
1階のロビーには、サークル活動の展示発表のための市民ギャラリーがあります。和やかな雰囲気ギャラリーですので、美術館はちょっと敷居が高いと感じてしまう方も、気軽にご来場ください。作品を作った本人が会場にいるサークルが多いので、制作秘話なども聞けるかもしれませんよ。

また、ロビーでは様々なサークル活動やイベントのチラシやポスターを置いています。インターネットの検索では出てこない、地域に密着した情報も集まっていますので、見に来てみてください。館内には市民活動をする上で意外と重要な、大量印刷に便利な印刷機と少数向けでカラーコピーができるコピー機も設置しています。

○施設詳細、利用方法については

施設予約窓口(042-559-1163)へ

巻末掲載のHPも併せてご覧ください！





# サークル活動



## 「しどこの場」

## そして「学び合いの場」

公民館では、数えきれないほど多くのサークルが活動しています。活動内容は合唱や器楽などの音楽分野、詩吟や民謡、ちぎり絵や陶芸などの工芸、絵画や水墨画、文芸、園芸、茶道、囲碁、将棋、写真、語学、料理、古文書や漢詩などの学習会、フィールドワーク・・・挙げたらキリがありません。最近も将棋サークルが立ち上がったようです。次はどんなサークルが生まれてくるのか密かに楽しみにしています。

これらのサークルはいわゆるカルチャーセンターなどの「お稽古事」にはない良さがあると私は思います。サークルでは、講師から技術などを学ぶだけでなく、メンバーで会を運営して

いく中でお互いに気づき、学び、教え合うという双方向の循環が生まれます。もともととはただ「同じ興味」で集まった人たちが、一つのサークルで活動していく中で、講師はどうしようか、役職は、予算はなどいろいろなことを相談し、悩み、考えていきます。時にはこれまでの自分の中に無い価値観に戸惑うこともあるかもしれません。ですが、このように一つのサークルを仲間と運営するからこそ得られるものがあると思います。「学習は一人でするもの」と思う方もいるかもしれませんが、その方が性に合っている方もいると思います。学び方は人それぞれですが、サークルの中で学ぶからこそ感じられる豊かさがあることもちょっと考えてもらえると嬉しいですよ。

最後に、サークルの運営は色々な悩みが付きまといえます。特に会長などの役職になってしまうと事務が負担になったり、会員が減少しサークルの元気が無くなってきたりと頭を抱えることもあるかと思えます。そんな時は、メンバー内で抱え込まず、ぜひ公民館へご相談ください。解決策がすぐに出ないこともありますが、これまで多く

公民館を利用している団体を紹介する冊子を発行しています。ご利用ください！

のサークルを見てきた公民館だからこそ伝えられること、お手伝いできることがあります。これからサークルを立ち上げたいという方もお気軽に公民館へご相談ください。私たちはいつでもみなさんの学びのそばでお待ちしています。



スマートフォンでご利用ください

# むすぶ

## ネットワーク作り

### 地域の「結び目」

### としての公民館

公民館は地域のさまざまな機関や団体をつなげることで、地域のネットワークを作ります。

地域には、多くの団体やグループなどが様々な活動を行っています。また、

公民館でも多くの団体が活動を行っています。その個々の活動を繋げていくことにより、新しい活動が生まれることを目指して、ネットワークづくりを行うことが公民館の大切な役割のひとつになります。

公民館では、公民館定期利用団体や市内で文化活動をしている団体の連盟である「文化団体連盟」等の連絡調整、事業相談、支援等を行うことで、グループの育成やネットワークづくりを行っています。また、学習相談事業では、個人や団体からの「こんなことできる人いない?」「こんなことしたんだけど、一緒にできそうな団体ある?」というような相談に対して団体や個人の紹介を行っています。インターネットが普及しても地域で活動している団体はなかなか見つからないことが多いです。公民館にはそうした地域に密着した情報が集まりますのでお気軽にお問い合わせください。

公民館が「結び目」として機能するには、みなさんからの情報提供も重要です。「地域にこんな団体がある」「こんなことできる人がいる」などありましたら公民館へお知らせください。

施設予約は左の窓口へ



学習相談は右の窓口へ



文化活動の案内・相談





# いろいろと情報発信中！

それぞれのコードを読み取り、ご利用ください

まずはこれ！

**公式ホームページ**

あきる野市 公民館

で検索



毎月の公民館講座募集情報ならお任せ！

**月刊「のらぼう」**



あきる野市全体の情報も知りたい！

あきる野市公式 **Twitter「るのびと」**



**一斉配信メールサービス**



## 編集後記

▼公民館をより多くの方に身近に感じてもらいたいとの思いから、公民館便り「en」を発行いたしました。公民館からの発行物といえbaumうひとつ、昨年1月に発行がスタートした「月刊のらぼう」。最近「のらぼう見たよ」という声を聞くようになり嬉しいです。▼これら2つの発行物ですが実は内容のすみ分けがあります。▼「月刊のらぼう」は講座募集がメインである一方、「en」は実施した講座がどういった内容であったかを参加していない人にも伝わるように作成しています。ひと言に広報紙といっても、こうした情報(内容)のすみ分けをちゃんとしているかどうかが面白さ、分かりやすさに繋がってくるのです。▼多少作成者視点になりましたが、「公民館ってこんなところなんだ」と少しでも身近に感じていただけたら、そして「なんかいいね、公民館」と思っていたら、これほど嬉しいことはありません。今後とも公民館をよろしく願っています。(小澤)

## アクセス

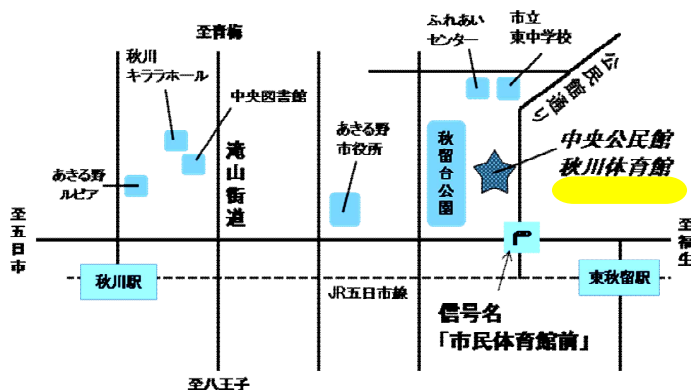
### あきる野市中央公民館

〒197-0814 あきる野市二宮 683

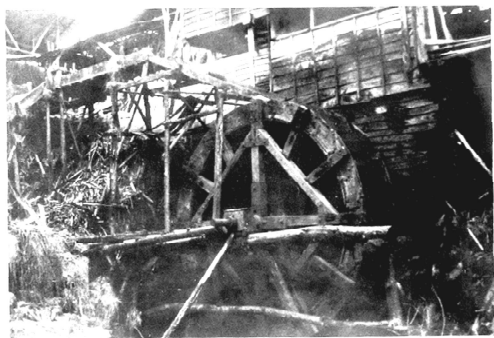
学習・講座情報窓口 042-559-1221

施設予約窓口 042-559-1163

F A X 042-559-1227



## こちら、地域の情報局！



製材用水車（怒田畑）<sup>ぬたばた</sup> [年代不詳]  
『五日市の百年』（1995）五日市町発行

みなさんは自分の住む地域のことをどれだけ知っていますか？

左の写真は市内の養沢<sup>ようざわ</sup>にあった製材所です。養沢川から取水し、人よりも大きい水車で鋸<sup>のこぎり</sup>を動かし、木材を製材していました。昭和30年頃まで製材所として稼働し、その後は端材を利用した下駄工場だった、と当時工場で働いていた地域の方から教えてもらいました。私は生まれも育ちも養沢で、小さい頃から地域の畑や川、空き地で遊んでいました。この製材所があった場所もよく遊びに行った場所だったのですが全く知りませんでした。26歳で地域との「出会い直し」をしたのです。なにかと気忙しい時代ですが、ふと立ち止まり地域と出会い直しをしてみたいはいかがでしょうか？

○発行○

いつでも学びのすぐそばに

あきる野市  
中央公民館